



2011～2012年度
国際ロータリーのテーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために
2011～2012年度
RI会長 カルヤン・ハネルジー

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日
幹事 長：高須 洋志
クラブ広報委員長 事：馬場 将嘉
例会 日：毎週木曜日 PM12:30～
場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1516回例会

～会員増強及び拡大月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2011年8月18日(木) 晴 第6回 ガバナー訪問・名古屋南RC合同例会

司会：亀井直人会場委員長
斉唱：「それでこそロータリー」
ゲスト：愛知県教育委員会 新井 忠さん
ビジター：第2760地区ガバナー 松前 憲典さん
地区幹事 長谷川正己さん

会長挨拶

高須洋志会長

皆さんこんにちは。今日は瑞穂RCがホストクラブをさせていただいていますので、先輩には申し訳ありませんがご挨拶させていただきます。私は学生時代に運動部に所属しており、最初に教えられたことは言葉遣いと礼儀作法でした。まず先輩に「先輩に言われた事は黙って素直に聞きなさい」と言われました。我々のクラブが誕生したのは32年前の1980年で、その時スポンサーになったのが名古屋南RCでした。つまり先輩であり親であるので一生頭が上がらないと思います。しかし今年度の名古屋南RC会長は瑞穂RC会員の嶺木一夫さんのご子息である嶺木昌行さんです。つまり瑞穂RCが親で名古屋南RCが子供なのでこれでイーブンかもしれません。



先程松前ガバナー、長谷川幹事、名古屋南RCさんと同席し、懇談会をさせていただきました。後ほど松前ガバナーの卓話でもお話があると思いますが、色々ご指導いただきました。本日はどうぞ有意義な一日となるように、ゆっくりとしたご歓談も含め、例会をお楽しみ下さい。

ニコボックス

近藤茂弘ニコボックス委員長

- 国際ロータリー第2760地区ガバナー松前憲典さん、地区幹事長谷川正己さんより御祝儀をいただきました。
- 松前ガバナー、長谷川幹事を歓迎いたします。瑞穂RCの皆様にはお世話になります。

名古屋南RC 嶺木 昌行さん 桂 洋司さん

- 本年は長岡・岡崎・諏訪湖と三大花火大会を見てきました。
- 本多 清治さん
- 8月30日の荘川高原のゴルフ会に大勢の方々申込み頂き有り難うございました。泉さんにかわってお礼申し上げます。

内田 久利さん

- 本日は松前ガバナーをお迎えしての例会です。

高須 洋志さん 高村 博三さん 野崎 洋二さん
遠山 堯郎さん 近藤 雄亮さん 馬場 将嘉さん
増田 盛英さん 関谷 俊征さん 湯澤 勇生さん
渡辺喜代彦さん 大嶽 達郎さん 鈴木 淑久さん

出席報告

近藤茂弘出席委員長

会員67名 出席46名 (出席計算人数51名)

出席率 79.3%

8月 4日は補填により 94.8%

幹事報告

馬場将嘉幹事

- 本日13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にてガバナー・地区幹事と地区大会に関する打合せを行います。
- 次週8月25日(木)11時30分より12時15分までヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第1回R情報・研修委員会を行います。
- 同日13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第12回地区大会実行委員会を行います。

委員会・同好会報告

親睦活動委員会：堀 慎治委員長

9月10日(土)姉妹提携している札幌手稲RCを訪問することになりました。ご出席の意思のある方は来週8月24日(水)までに事務局へ出席の連絡をお願い致します。日付が迫っていますのでよろしくお願ひします。

愛知県教育委員会 新井忠さん挨拶

国民体育大会冬季大会について

本日は貴重なお時間を頂きましてありがとうございます。来年愛知県で初めて開催することとなりました「国民体育大会冬季大会」のご紹介をさせていただきます。今まで冬季大会と言いますと雪と氷のある北海道や東北地方を中心に開催されて参りましたが、愛知県には4つの室内スケートリンクがあり、岐阜県もそれに合わせて400mの屋内リンクを造ったことにより、スケート競技を愛知県と岐阜県で合わせて開催できる事となりました。来年1月に愛知県の4つの会場(名古屋市・豊橋市・長久手町)でアイスホッケー競技会が開催されます。会場の1つには南区の『ガイシアリーナ』も入っていますので、是非足をお運びいただけたらと思います。残された後160日余りで残りの準備をしていきますので、皆様のご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。

会長・幹事懇談会

例会前、松前憲典ガバナー、長谷川正己地区幹事をお迎えして会長・幹事懇談会が行われ、有益なご指導を賜りました。



ガバナー訪問



皆様こんにちは。今日はDVDを使ってロータリーの現況とガバナー方針を報告させていただきます。<以下DVD鑑賞>

改めまして、皆様こんにちは。ロータリアンの皆様には日頃よりロータリー活動にご尽力頂き、熱く御礼申し上げます。

私はガバナー就任のため、ガバナー研修会・GETに本年1月17日から一週間、

アメリカ・サンディエゴにて開催された国際協議会に出席して研修を受けてまいりました。会場はサンディエゴ・マンチェスター・グランドハイアットで、サンディエゴ湾の美しいウォーターフロントを臨み、ショッピングエリアへは簡単に足を運べる上、空港や鉄道駅もホテルから数分の距離にあり、1000人もの収容可能な会議室を持つ素晴らしいホテルでありました。

国際協議会は、世界のガバナーエレクトが一堂に会して、ガバナー年度にむけての準備のため、多くの情報を学び、意欲を喚起するための研修であります。この研修をもってロータリーの奥義を学び、組織の国際性を体験し、ロータリーの「超我の奉仕」の理想の実践への挑戦をしていく心構えをつくるのが大きな目的であります。会議における席は全て指定席で、会場にはSAAと記された腕章をつけた会場監督者が巡回してチェックをしており、欠席者にきびしい対応をしている様子が伺えました。

日本から本会議に出席したガバナーエレクト33名は本会議の後、RI中村研修リーダーのもとグループ討論会が実施され、本会議で話し合われた概念について更に深く検討し、地区ロータリアンのために奉仕する心構えを学びました。2011～12年度のロータリーの目標を達成するための準備について熱い討論が実施され、ロータリーリーダーシップ研究会でRLI方式の研修を受けました。この研修方法は聞くだけでなく、質問に答え、自分自身の考え方や意見を述べるという方法であります。

世界中のロータリーから集まったロータリアン夫妻との親交が深められ、生涯忘れられない友情を培い、ロータリーの奉仕活動の更なる原動力となりました。交歓会は研修中の緊張感を緩め、親睦を深めるために開催され、自国の文化を紹介する場にもなっています。ガバナーエレクトとその配偶者達が工夫を凝らし、毎年華やかに開催されています。不肖松前も袴姿で会場へ入場させていただきました。日本のご夫人方々による沖縄民族衣装での踊りを披露し、会場に花を添えておりました。

ロータリーに変革の時が参りました。日本のロータリーのみならず、世界のロータリーに共通の状況でもあります。日本のロータリーにおいて、会員の減少の傾向が続いております。これらに対し、RIでは新長期計画(2010～2013年度)を更に一歩進め、世界の各クラブが積極的に活用してほしいと要望しております。これを戦略的計画と呼んでおり、五つの中核となる価値観の奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップをもって奉仕組織としての確立を一層高めようというものです。新RI長期計画は3本の柱(①クラブのサポートと強化 ②人道的奉仕の重点化と増加 ③公共イメージの認知度の向上)が中心となっており、会員組織や奉仕活動などあらゆる面で多様性を尊重しています。

RI理事経験者と現在の理事お二人の談話を簡単にご紹介します。黒田正宏RI理事(2009～2011)は「皆様の地区で日本の伝統的文化に合うようクラブで検討し、厳しい変革の時代を乗り切っていただきたい。まず会員増強をはじめとして頑張ってください」と強く要望しており、「新RI長期計画とロータリー財団の未来の夢計画の実践年度である」と述べられております。一方、近藤雅臣RI理事(2010～12)は「新時代の幕開けに」と題して、「世界的視野でロータリーを発展させよう。2010～13年度の長期計画の実践は、クラブの活性化が重要であり、活性化こそがロータリー発展の大きな原動力である」と述べられております。

2012～13年度のRI会長に2770地区(埼玉県八潮RC)田中作次氏が就任されることとなりました。日本から三人目のRI会長の誕生に心よりお祝いを申し上げます。たゆまぬ努力精進の結果であり、新興国に対する数多くの支援活動も実践されております。ご活躍されることを衷心よりお祈りいたします。田中氏は温厚で誠実な方であり、「挑戦」が最も大切な言葉だと仰っています。

ロータリー財団未来の夢計画について2760地区では田嶋年度よりパイロット地区としての事業が始まり、新地区補助金やグローバル補助金いずれも各クラブよりの申請が提出され、順調に試行されております。我が地区は日本の模範的地区といわれ、これも各クラブ皆様方の奉仕活動に対する熱意の賜物でございます。是非とも実りある活動となりますことを切望いたします。

今年度のRIテーマは「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」とカルヤン・パネルジー会長が発表されました。パネルジー会長は「自分を見つめなおす」と題して感銘深い、素晴らしいスピーチをされました。自らを発見し、潜在的な力を引き出し、迷わず、ひるむことなく、出でて奉仕し、世界に博愛を広げて下さい。さらに3つの強調事項として「家族」・「継続」・「変化」を挙げられています。世界が望んでいる変化にまず私たち自身が対応し、平和を望むなら、家庭や地域社会に平和をもたらすことから始めようということです。私たちはロータリーを通じて世界を変えたいと望んでいます。平和にあふれた世界をつくり、明るい未来を創造してゆきましょうと唱えられました。

今年度の地区テーマは会員増強とクラブの活性化です。会員増強はロータリーの組織を強化し、奉仕活動の活発化を計るために肝要であります。昨今の経済情勢の中、会員の減少が大きな課題でございますが、国内最多会員を擁する2760地区は今後もリーダー的存在として活動するためにも、会員数5000名以上になるよう、皆様のお力に頼る他には御座いません。この目標達成のために4つの項目(①退会防止 ②女性会員と若手会員の増強 ③30名以下のクラブ会員の増強 ④クラブ会員の多様性)を実践してください。ロータリーの第一標語である「超我の奉仕」でこのロータリーを発展させてゆこうではありませんか。

2011～2012年度地区方針サブタイトルは「社会に貢献する」「ゆったりとおおらかに生きる」です。私はアーサー・シェルドンの「奉仕する、サービス」という言葉を「社会に貢献する」と訳したと云われた田嶋直前ガバナーのお考えに同調します。人生の晩年は人生の指針を見つけ、社会に貢献することが大切です。私は老子の説く「ゆったりとおおらかに生きる」を究極の人生論と考えております。「老子道徳説」とも呼ばれている四つの生き方の内、「貢献の徳をもって生きなさい」という教訓に注目します。人生最初の30年間(第一期)は「自分探しの時代」、次の30年間(第二期)は「自己実現の時代」、そして晩年の30年間(第三期)は「社会貢献の時代」として生きると云うものです。古典から人生の指針を見つけることを新しい目標としてみるのもきっと楽しいと思います。21世紀は「心の世紀」といわれます。美しい花を咲かせるには、丹念に水をやらなければなりません。同じように人生に美しい花を咲かせるには自分を丹念に磨く必要があります。ロータリーはそれを可能にするところです。「入って学び、出でて奉仕せよ」とありますが、人生に一輪の花を咲かせて、人生の目的を達成したいものです。

例会のご案内

■今週の卓話 8月25日(木)

卓話講師：市民キャビネット災害支援部会長
松尾道夫さん

テマ：東日本大震災活動報告

■次週の卓話 9月1日(木)

会員卓話：馬場将嘉幹事

テマ：クラブ計画書の説明

■次々週行事 9月8日(木) 職場例会

場所：リニア・鉄道館